



南宮大社の“寅”

今年“五黄の寅”

九星気学において、最強の運勢と言われる「五黄土星」と、十二支の中で最も運勢が強いと言われる「寅年」が重なった年に生まれた人のことで、非常に強い運勢を持つと言われてます。そして九星は9年に一度の周期、十二支は12年に一度の周期なので二つが重なる「五黄の寅」は、36年に1度の周期でしか巡ってきません。



海辺の朝日

撮影：福本莞さん

南宮大社絵馬



開運招福

目次

- 新年のご挨拶
- 行事予定 (1月度)
- まち協歴史講座
- 宮代地区長寿会
グランドゴルフ大会
- 宮代文化講演会
- 活動報告
《11月-12月の活動》
- 文芸の広場
中山社 北野俳句会
- 《南宮大社宝物殿のお宝》について

新年のご挨拶

まちづくり協議会会長 西川 一明



宮代地区の皆様、明けましておめでとうございます。

令和2～3年はコロナ感染症拡大防止のため、協議会の三大大行事（夏祭り、運動会、文化祭）は例年どおり開催することが出来ませんでした。

しかし、皆様の協力により南宮登山大会は140名程の参加者があり充実した登山となりました。文化祭は作品展示を中心にセンター1階・2階を使い、1週間開催しました。延べ500名の参加者があり、盛況に開催することが出来ました。中でも、

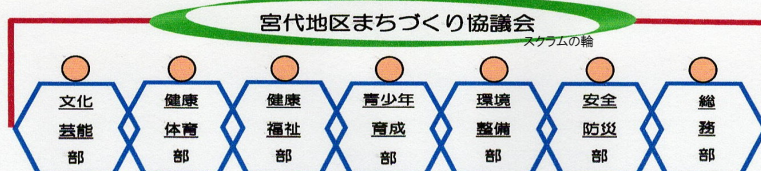
この文化祭の協賛行事として「壬申の乱、大海人皇子の足跡を歩く」では、25名が参加し関係する史跡を訪ねました。

本年（令和4年）は、例年どおりの行事を、皆様の参加により楽しく行っていきたく思います。依然コロナの終息は見えません。皆様、健康にはしっかりと注意され元気に生活して貰いたいと思います。

本年もまちづくり協議会へのご協力よろしくお願い致します。



南宮登山大会



行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水墨画教室	7日,21日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
2	絵手紙教室	9日,23日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
3	シニアはつらつ教室	17日 13:00~15:10	月	まちセン 大会議室	会員募集中
4	千之子ども教室「親子凧あげ大会」	30日 9:00~11:30	日	小学校体育館・グラウンド	50組

まち協歴史講座 「壬申の乱 大海人皇子（後の天武天皇）の足跡」を歩く

宮代歴史ウォークが11月25日、25名の参加で行われました。

壬申の乱は、672年、天智天皇の子・大友皇子に対し、天皇の弟で大友皇子の叔父にあたる大海人皇子が兵をあげた日本古代史上最大の内乱です。小春日和の中、講師の説明を聞き、歩くこと3時間見慣れた景色もいつしか古代に思いを馳せての散策となりました。

大領神社、宮代廃寺跡、道祖神、南宮古墳群、杉の本伝説の杉の木、大海人皇子が鎧を掛けた石、腰掛け石など、宮代古道を歩く宮代南部巡りでした。

出発するまちづくりセンターあたりは古代の政所があり、不破郡の中心でした。大領神社は、祭神に壬申の乱に功績があった宮勝木実（みやのすぐりこのみ）が祀られており、神社が美濃国の二宮（或いは三宮）となっています。宮代廃寺跡では県下最大級の古代寺院跡の基礎石（心礎）が残っています。講師はその大きさがいかに大きなものであったかを重い角材持参で説明しました。そのほか瓦のかけら、土器の破片なども持参し、いかに古墳群が多いかを説明してしまし

た。又、この地域に残っている地名には、壬申の乱の影響を受けているものがあります。例えば「尾登野」（おのぼりの）南森下地区南の畑、広大な原野、大海人皇子が山際の宮代古道をお上りされたから「おのぼり」という伝えがあります。「杉の本」には杉の木伝説を生んでいます。

宮代古道を大海人皇子は騎行した。桑名から行程38キロを即日不破につきました。私たちも3時間歩き疲れましたが皇子も疲れたのでしょうか、腰掛け石・鎧掛石が残っています。また皇子の戦勝祈願の伝説を伝える勝ち栗を家紋としている家がある話など壬申の乱を感じるウォークとなりました。 記：高橋弘美



大領神社

宮代地区長寿会グランドゴルフ大会

コロナウイルス感染拡大防止のため、宮代地区長寿会の行事は、2年近く中止していましたが、11月29日朝倉運動公園自由グラウンドで55名が参加しグランドゴルフを楽しみました。いい運動と親睦の場となりました。来年も継続していく予定です。



宮代文化講演会 浄瑠璃上演

12月12日 33名が参加し、垂井義太夫保存会による「太功記十段目尼ヶ崎の段」が上演されました。太夫の語りと三味線の音が情感をそそり、伝統芸能の奥深さに魅了されました。



活動報告



11/21~12/20

ふれあいこころ集こまつ
明るく住みよいまちへ
宮代地区まちづくり協議会

青少年の健全育成を語る会(12/19)

テーマ ; 「コロナ禍 ~今私にできること~」

「語る会」は青少年が心身ともに健やかに成長し、豊かな人間性・自立性を身につけ、未来を創っていく力を育むことで開催しています。コロナ禍で、昨年は実施できませんでしたが、今年は縮小して実施しました。

意見発表 不破中生 2名
 不破高生 2名



開会のことば



意見交換

意見発表



題名 学級委員として



よりよい町づくりについて考える



コロナ禍での学校行事



制限された日常生活

西濃地区子ども会育成協議会青少年リーダー合同研修会
12月5日 子ども達に宮代の自然と歴史・文化を愛する会で道標・石碑巡りを行いました。



垂井町観光ガイド養成講座
12月11日 宮代地区の史跡：南宮大社、朝倉山真禅院等の座学（まちづくりセンターにて）と現地研修がありました。



千之宮代子ども雅楽教室
12月11日 6年生30名が雅楽演奏を聴き、笙・箏・楽太鼓などの楽器に触れ、歴史ある雅楽を楽しみました。



「生き生きふれあいサロン」
お便り通信
12月12日 サロンの代わりに脳トレ回答者へケーキをプレゼントしました。



宮代地区ささえあい連絡会の視察に来場する
12月16日 海津市サロン平原が来場し、お互いのサロン活動について意見を交換しました。



お正月に向けた「寄せ植え教室」開講
12月17日8種類の華やかな花を講師の指導で順番に箆に寄せ植えしました。



＊秒針の 静かに響く 冬座敷
川瀬 慶泉

＊かき高き 落葉は風の 意のままに
三和 光子



＊初もうで 赤い鳥居で 待ち合わせ
中嶋 結依

＊強風に 委ねる木木と 実南天
石垣 珠泉

南宮大社宝物殿のお宝について 其のⅧ

写真は許可を頂き撮影しました

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

その11 南宮大社造営文書623冊

(国指定重要文化財)

●寛永19年(1642年)に南宮神社が再建されたとき、建物に使用された材木1本1本の寸法・値段をはじめ、神輿や神事用楽器・衣装に至るまで詳細に記録されており、建築史上全国的にも貴重な資料と言えます。

●623冊が現存している。



南宮大社所蔵 造営文書

その12 南宮大社社殿 棟札30枚

(国指定重要文化財)

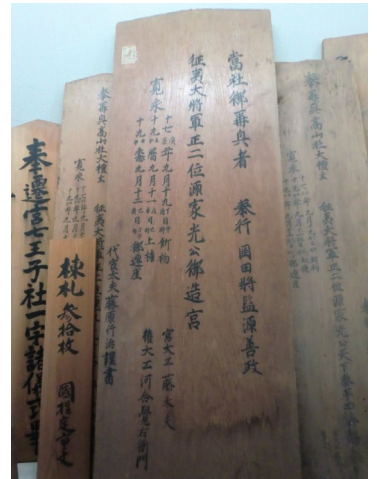
●棟札とは、棟上げや再建・修理のとき、工事の由緒や建築の年月、工匠の名などを記して棟木に打ち付ける札のことで。

●南宮大社には30枚が現存し「征夷大將軍 徳川將軍」の名があるものは次の通りです。

・「正二位源家光公御造営」と書かれた札が6枚(寛永19年9月11日)

・「征夷大將軍正二位源綱吉公御修復」と書かれた札が5枚

(元禄7年11月16日)



南宮大社所蔵 棟札

編集後記：★昨年は新型コロナウィルスが猛威をふるい、「巣ごもり」状態で幕を開けました。その後一旦落ち着きかけたものの、第4波・第5波が来て、コロナ禍から抜けだせない日々が続きました。★ようやく9月30日に緊急事態宣言は解除されましたが、新たな変異種(オミクロン株)もありまだまだ予断は許しません。しかし意識は「アフターコロナ」へと変わってきました。★今年こそ自粛生活から解放され、新しいことを始めたり、中断していた活動を再開したり、そんな年にしたいものです。★まちづくり協議会の活動も、コロナに注意し行事の再開・見直しなど活性を期したいと思います。

1月・2月(予定)の休館日
1月 1日(土)~4日(火)
11日(火)・18(火)・25日(火)
2月 1日(火)・8日(火)
15日(火)・22日(火)

編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明

E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



宮代の冬景色の特徴 雪の季節来迎し

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい